

情報公開文書

研究の名称	非小細胞肺癌ドライバー遺伝子変異検索症例の臨床経過に関する観察研究
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	内科学（第一）准教授 猪又峰彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 2019年1月1日より研究期間内に非小細胞肺癌と診断されドライバー遺伝子変異の検査を受けた方。</p> <p>【研究の目的・意義】 肺癌診療において分子標的治療の標的となる遺伝子変異の検索が重要となっています。現在の肺癌診療では数多くの遺伝子変異を調べることが可能で、その中には検出頻度が遺伝子変異検索症例の1%またはそれ以下である希少な物も含まれます。このためこれらの遺伝子変異を有する腫瘍の特性にはまだ不明な部分が多いのが現状です。 本研究は遺伝子変異検査を受けた方の診療情報を解析し肺癌診療の改善、進歩に寄与することを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 当院で診療を受けた上記の患者さんのカルテ情報を研究に用います。個人情報情報が漏えいしないよう、氏名やカルテ番号などは消去し解析に用います。</p> <p>【研究期間】 研究実施許可日から2026年3月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会や医学雑誌での発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>本研究では、年齢、性別、喫煙歴、受診日、身体所見、病期、生検方法、組織型、検体採取から遺伝子変異検査までの期間、生検検体における腫瘍細胞割合、治療経過、画像検査所見、血液検査所見、遺伝子変異検索結果、腫瘍PD-L1タンパク発現評価結果、カンファレンス内容等の診療情報を研究に用います。 富山大学に集計された研究データは必要に応じて匿名化された形で各研究機関で共有され研究発表に用いられます。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>診療情報は富山大学附属病院で管理されます 富山大学附属病院長 林 篤志</p>
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	<p>責任者：富山大学内科学（第一） 准教授 猪又峰彦</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7288 E-mail minomata@med.u-toyama.ac.jp</p>

担当者所属・氏名 富山大学内科学（第一） 准教授 猪又峰彦
